

## 徳島県8点目の竜脚類恐竜の歯化石の発見

### (1) 概要

徳島県勝浦町で徳島県立博物館が実施している発掘調査の現場とは異なる場所から、令和4年1月4日に県内の化石愛好家（小林亮介さん・小林敬治さん親子）が、恐竜の歯の可能性のある化石を発見しました。化石は、同年2月2日に徳島県立博物館に持ち込まれ、学芸員が竜脚類の歯の化石と鑑定しました。その後、化石は、博物館に寄贈されました。

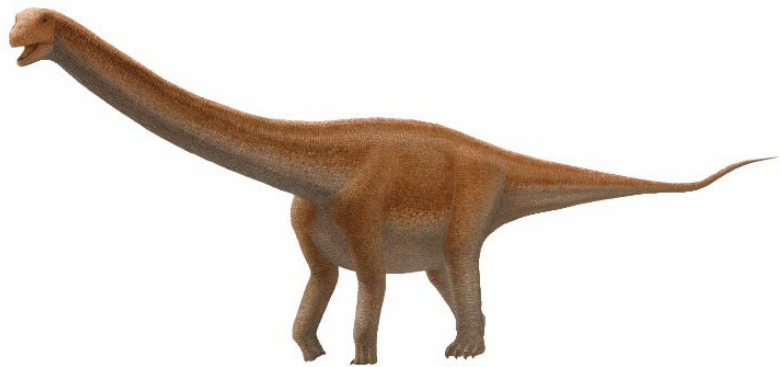
### (2) 発見された恐竜化石

- ・ 徳島県内で発見されている竜脚類の歯としては、8点目の発見。  
（※徳島県から発見された恐竜化石としては、17点目）
- ・ 長さ4cmで、徳島県内で発見された竜脚類恐竜の歯としては、最大サイズ。
- ・ これまでに徳島県勝浦町で発見された竜脚類の歯と同様、ティタノサウルス形類の歯と思われる。
- ・ 竜脚類は、全長10mを超える大型の植物食恐竜のグループ。



竜脚類の歯：長さ40mm、幅12mm

（発見者：小林亮介・小林敬治、採集日：令和4年1月4日）



竜脚類の生体復元画（画：山本 匠）

### (3) 一般公開

日時：令和4年3月16日（水）から7月3日（日）まで  
場所：徳島県立博物館 常設展 徳島恐竜コレクション